



「南アルプス粟代川改め 奥秩父井戸沢」

開催日: 2024年8月10日~12日

メンバー: 大貫和之(リーダー)、寺尾一木、平江誠
鈴木伸明、塩塚祐太、黒須悠輔

報告者: 黒須悠輔

8月に入り本格源流の時期が訪れた。今回は南アルプスの粟代川である。粟代川は水量も豊富で泳ぎが多いため準備万端、気合十分で釣行前日を迎えた。しかし釣行前日の8月9日午後8時に神奈川県西部で震度5弱の地震が発生し、東名高速はまさかの通行止めとなった。粟代川は震源地付近かつ余震の可能性も高いため、向かっている途中で急遽、場所を変更することになった。平江さん宅周辺のスーパーヤオコーに集合し、他に入渓出来そうな渓はないかと皆で協議した結果、平江さんが以前行ったことのある奥秩父 井戸沢に決定し直ぐに西へ向かう事となった。



ヤオコー駐車場での緊急作戦会議



チャリンコで合流する平江さん



井戸沢へ向かう途中の崩落箇所



大洞川の堰堤を乗り越えるとすぐに右が惣小屋沢、左が井戸沢となる。井戸沢は谷が深くV字で源頭域までゴルジュが続く。日が落ちてきたのでテンバを探すも6人が横になれるところは見つからない。塩塚さんが先行してテンバを探しに行ってくれ、私は少し遅れて後を追うと塩塚さんが戻ってきた。

黒須 「(テンバ)ありました？」

塩塚さん 「広いけど川の水位とほぼ同じ高さのテンバと、狭いけど高いところにあるテンバがあったよ。」

黒須 「(前者は無しとして、後者は有りかもな。あとは周辺確認すればもっと良い場所あるかも) 分かりました。平江さん達にテンバありそうと伝えます。」

……皆でテンバ確認しに上流へ向かう……

塩塚さん 「ここです」

平江さん 「ここっ！？これはテンバじゃなくて**中州だ！！**」

なんてこともあったが、さらに上流へ少し歩くと、広めの河原を塩塚さんが見つけてくれ、タープを貼ることができ感謝。ただ前者のテンバ(中州)は夕方の雨で完全に水没してしまったので、夜の宴会で塩塚さんが先輩方から派手にいじられたのは言うまでもない。笑



(2日目)

朝食を済ませたら、お楽しみの釣りである。都心から近い沢のため魚はスレ気味だが、魚影はそこそこ濃いようで、各々釣り上げることができた。予定では奥秩父最悪の難所と言われるキンチヂミを越えたところまで釣るつもりだったが、急遽決まった沢で事前調査不足だったため、キンチヂミ入り口にある 8m2 段の高巻きルートの間違い、左岸側から上がってしまった(右岸が正規ルート)。そこは急斜面な上にひどいガレ場で、慎重に歩いてもすぐに落石を起こしてしまい危険な場所である。最初は踏み後らしきものもあったが、それも途絶えた。落石が異常に多く、明らかに正規ルートではないためリーダー判断で退却。滝へ戻ってきてから塩塚さんが右岸側へ偵察にいき正規の巻き道を発見するも、タイムリミットが迫っているため、テンバへ戻ることになった。





キンチヂミの入り口となる 8m2 段滝。右岸側に巻き道がある。





焚火の煙から平江さん出現

(3日目)

最終日は雲一つない青空。帰りの注意ポイントは行きで乗越した滝だけであるが、そこは上流側からだ岩場に登るためのロープが設置されており、あっさりと通過することができた。今回の源流釣行は地震の影響で急遽、場所の変更を余儀なくされたが平江さんが井戸沢を提案していただいたおかげで皆満足の釣行となった。アブやブヨなどの虫が全くいないのも最高でした。改めてありがとうございます。





皆様お疲れさまでした。次回もよろしくお願いいたします。